

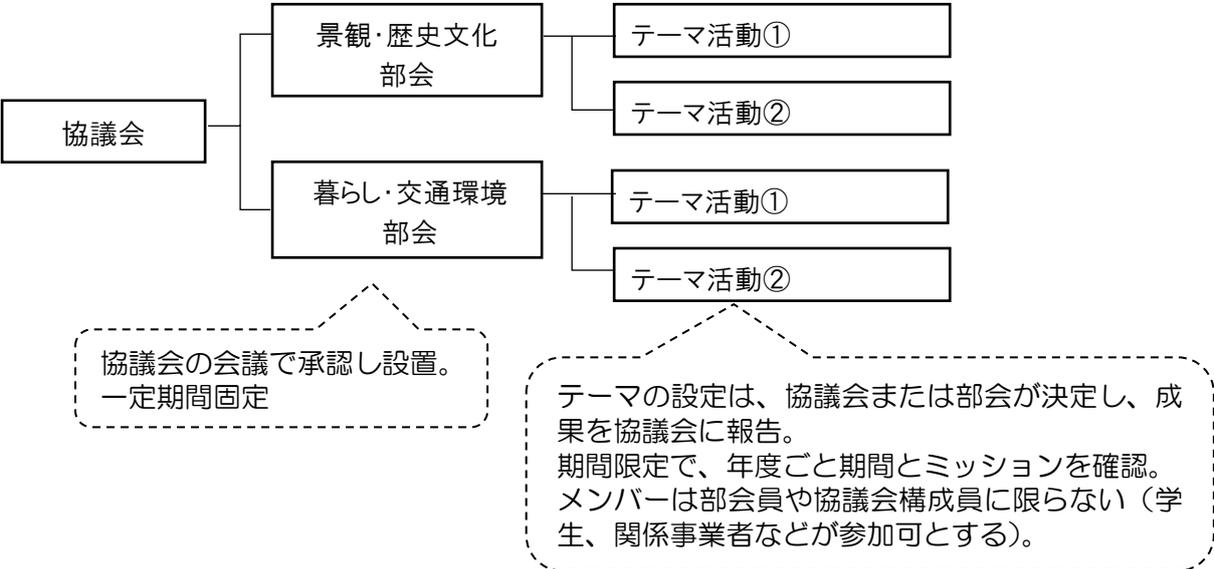
取組体制と活動テーマ ～R5 年度部会設置案～

(1)部会設置案

基本方針(1)と(2)に対応する「景観・歴史文化部会」と、(3)に対応する「暮らし・交通環境部会」の2つの部会を設ける。(計画年度の前期の間(今後4年間)継続する想定)

部会のテーマ活動の設定方法としては、協議会及び部会の構成員に募集して候補案を把握し、その時々重点課題、各取組みの進捗状況、集中的な事業主体間の連携や意見把握等の必要性を整理する中で、年度初めの協議会や年度中に開催される協議会及び部会で決定することを想定。

テーマ別活動は、原則として年度ごとに活動目標や参加者を定めて行うものとし、柔軟性を持たせる。また、活動主体については、テーマに応じた各事業主体を選定することとし、事務局はその活動を補佐するものとする。



■部会構成(案)

部会	担当分野	メンバー
景観・歴史文化部会	(1) 古都首里を感じられる空間の創出 (2) 歴史文化資源等の保全・整備・活用	地域(団体または氏名) 学術(琉球大学研究者など) 那覇市(都市計画課、文化財課、花とみどり課、公園管理課、環境保全課など) 沖縄県(首里城復興課、都市モノ課、文化財課など) 沖縄総合事務局(首里城復元整備推進室、沖縄総合観光施策推進室など)
暮らし・交通環境部会	(3) 暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり	地域(団体または氏名) 学術(琉球大学研究者など) 那覇市(都市計画課、道路管理課、道路建設課、観光課など) 沖縄県(首里城復興課、都市公園課、都市モノ課、観光振興課、道路街路課、道路管理課、交通政策課など) 沖縄総合事務局(首里城復元整備推進室、沖縄総合観光施策推進室など)

(2)テーマ活動のイメージ

■R5 年度テーマ活動（協議会・部会にて検討）

部会	担当分野	R5 年度テーマ活動	主担当
景観・歴史 文化部会	(1) 古都首里を感じられる 空間の創出	〇〇検討会 (内容)	□□
	(2) 歴史文化資源等の保 全・整備・活用	△△地区〇〇検討会 (内容)	□□
暮らし・交 通環境部会	(3) 暮らしと観光が両立し た住みやすく魅力的な まちづくり	〇〇検討会 (内容)	□□
		△△地区〇〇検討会 (内容)	□□ ☆☆

□テーマ活動の動かし方イメージ

